

# Public Voices 声のらん

皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)  
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】

## 一般不妊治療 (人工授精)

医師の診断により、一般不妊治療(人工授精)を行った方のうち、次のすべての要件に該当する方

- ①夫婦ともに千歳市に住民票がある方
- ②治療開始時の妻の年齢が43歳未満の方
- ③市税の滞納がなく、夫婦合算して年間所得が730万円未満の方(税引き前の収入ではありません。)

本市在住中に受けた人工授精の治療費(保険適用外)について、1年度(4月～翌年3月)あたり3万円を上限に助成

通算2年度が対象期間

各年度の3月31日まで(年度実施分ごと)

### 対象者

### 助成額

### 期間回数

### 申請期限

## 特定不妊治療 (顕微授精・体外受精)

夫婦ともに千歳市に住民票がある方で《北海道特定不妊治療費助成事業》の決定を受けた方

- ※制度の詳細は北海道ホームページを確認。
- ※申請は千歳保健所 ☎(23)-3175まで。
- 治療開始時の妻の年齢が43歳未満の方
- 男性不妊治療や2子以降の治療の場合も、対象となる子どもごとに助成

- 1回の治療につき5万円を上限に助成
- 特定不妊治療の一環として、男性不妊治療を行った場合は5万円を上限に助成
- ※助成金額は、北海道からの助成成分を差し引いた自己負担分についての助成

治療開始時の妻の年齢が40歳未満は、通算6回、40～43歳は、通算3回

治療が終了した年度の3月31日まで

## 答

不妊治療をしている方のうち、一般不妊治療(人工授精)や特定不妊治療(顕微授精、体外受精)をしている方に対して、費用の一部を助成しています。

## 声

なかなか子どもを授けられず、不妊治療を始めました。治療費が負担になっていきます。助成制度はありますか？

## 不妊治療の助成制度はありますか？

[30歳代/女性]

お答えします

母子保健課 母子保健係 ☎(24)0771 FAX(24)8418

千歳市不妊治療費助成事業の《申請方法》や《申請書類》については、市ホームページに掲載しています。  
<https://www.city.chitose.lg.jp/docs/95-93270-166-1084.html>

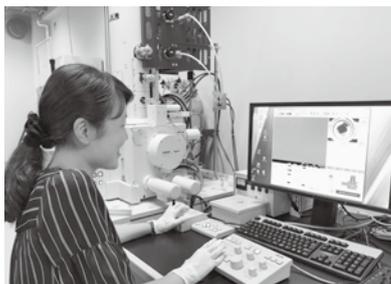


交通手段、電化製品、通信網、医療の飛躍的な発達など、現在私たちが送っている豊かな生活は、18世紀後半の産業革命の賜物です。しかし、その豊かな生活はエネルギーや資源の枯渇、大量の廃棄物、また、温暖化ガスによる気候変動などをもたらしました。人間が地球の生態系や気候に影響を及ぼす、いわゆる《アントロポセン(人新世)》の時代の到来です。

私たちはこれまでの生き方を転換しなければならぬ時期にきています。消費する一方だったエネルギーは節約へ、今まで廃棄されてきた物は資源や材料として再生化へ。百年、千年(まさに《ちとせ》です)の先を見据えた将来設計が必要です。その取り組みの一つとして、私たちが応用化学生物学科は人と自然界に役立つ教育と研究を行っています。具体的には、環境モニタリング(センサー)成分合成、高性能レーザ研究、マイクロプラスタック、食品分析・人体組織のイメージング、生物模倣を用い

た材料・プロセス開発、環境に優しく、かつ新しい付加価値を持つ天然素材(核酸、ナノセルロース、ソバ殻など)の利用など研究テーマは多岐にわたっています。

本学が位置する千歳は豊かな自然に恵まれていると同時に、世界に開かれた国際空港が立地しています。このような研究を世界に発信することで、さらに国際的な研究や協力関係が培われていくのではないのでしょうか。ぜひ公立千歳科学技術大学とともに世界と環境のために何ができるか、身近なところから私たちと一緒に考えていこうではありませんか。



電子顕微鏡を操作する横浜国立大学の大学院生(ナノテク支援学生研修プログラムの参加者)

## 人と環境の『千歳』へ

シリーズ全12回  
第6回

# ちとせの地と世の科技大

地域から世界に



応用化学生物学科  
Olaf Karthaus 教授

シリーズ全般  
公立千歳科学技術大学  
☎(27)6001  
FAX(27)6007